

# 精神的 塾

九州国際大学  
付属高等学校  
進路指導部だより  
令和2年度  
第6号  
令和2年10月27日

「塾的精神」は学園の  
建学の精神です。

## ○ はじめに

2学期中間考査の成績がまとまりました。前回の期末考査時と比べ、成長の実感がありますか。振り返る際に皆さんがすべきことは『垂直比較』です。他者との比較、すなわち「水平比較」にならないようにしてください。対象は以前の自分と今回の自分です。努力した分は必ず成長しています。

最近、『自己肯定感』という言葉をよく聞きます。皆さんにとって、高校生活はうまくいっていますか。中には充実の毎日で、学校が楽しいと感じる人がいるでしょう。一方で、うまくいっていない人がいるかもしれません。悩みは周囲の人に話してください。先生でも構いません。九国には100名以上の先生方がいます。皆さんの出身中学校の先生は、20数名程度のところがほとんどです。それぞれ、経験も考え方も異なりますが、先生方は皆、校長先生がおっしゃる「九国はひとつの家である」との考えを理解しておられます。九国の良さです。何かあれば、その辺にいる先生をつかまえて話してください。

『自己肯定感』の話に戻りますが、これは「現状を認める感覚」と「希望を持って前向きに物事を捉える感覚」を合わせたもので、人生の軸となるものです。自らが、この道でよいと認め、今いる道を進んだ先に、明るい未来を感じる。このことなしに、人は前には進めないのです。皆さんには『垂直比較』によって成長を感じ取り、その上で、さらに良くなるための課題設定を行って、学びの秋を充実させてほしいです。

## ○ 物事がわかるとは

中間考査の成績を1年N組から3年14組までじっくりみていくと、どのクラスにも平均9割を超えて結果を残した人がいる一方で、「本当に努力したの?」と準備の有無に疑問を抱く成績の人もありました。今の高校生はある種の全能感を持っていて、中には「ちょっと勉強すればすぐにわかり、すぐにできるようになる」と思い込んでいる人がいるようです。書店には「10日で究める○○」や「□□が一週間でわかる」のようなタイトルの本が並びます。本当にそうでしょうか。

### 物事はすぐにはわからない。

少し前の高校生の方がこの平凡で苦々しい事実を理解していたように思います。学問に対する「畏れ」を知っていたのかもしれませんが、高校生の気質が時代と共に変わるのとは当然ですが、この点は少し心配します。試験後はミスの原因を一つひとつ確認し「これだから日頃から基礎基本をもっと真剣に、もっと時間をかけて取り組むべきなのだ」と認識しましょう。3年間かけて自分を本物に変えていく。それが高校時代なのです。

## ○ 続々合格通知が届いています

10月下旬に入り、総合型選抜や就職試験の合格通知が届いています。職員室では、我が子のこのように喜ぶ先生方の笑顔があります。幸せの瞬間です。合格した生徒は、感謝を忘れず、クラスを支え、原点に戻って授業を大切にしましょう。

## ○ 大学入学共通テストの出願と入試展望について

10月2日(大安吉日)、大学入学共通テスト303名の出願を終えました。以下は10月14日(木)の全国データです。

出願総数	535,244人(22,455人減)
高校等卒業見込者	449,789人(2,446人減)
高校卒業者等	85,455人(20,009人減)

予想に反して現役生は横ばいで推移しています。新入試制度にコロナ禍が重なり、多くの受験生が安全志向に向かうようです。これは、受験生が周囲のうわさから何となく弱気になり、易きに流れる傾向です。今年はいかに強気を保てるか、いかに第一志望を譲らない意識を持ち続けられるか、が特に大事な年になります。現役生は最後まで伸びます。諦めずに挑戦です。

## ○ ライバルは自分です

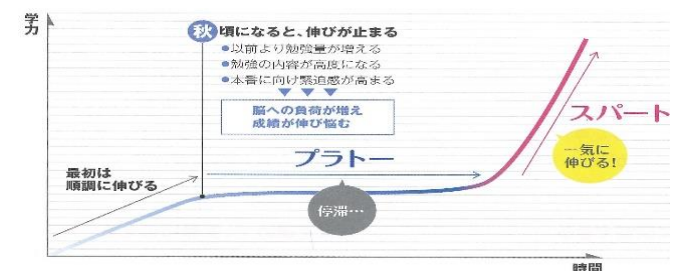
教室で時々諦めの言葉を聞きます。今の学力で合格できる進路を探すのもよいですが、本気で初志貫徹を目指すことも大切です。2~3か月もあれば、人は相当やれるものです。

乗ろうと思っていたバスに間に合いそうにない。「ヤバイ」と一瞬諦めようかと迷ったが、とにかく急いで向かってみる。すると、その日に限ってバスが遅れて到着。「ついてる!」と感じた経験。皆さんにはありませんか。どうせダメだとゆっくり歩けば、間に合いませんでした。これは運がよかっただけのことにみえますが、人生において確かなのは、努力をせずに願っているだけでは幸運を引き寄せられないという事実です。遙か前を走るたくさんのライバル。強敵揃いで歯が立たない感じがするが、そこは同じ高校生。大差はないと自分に言い聞かせ、気持ちを奮い立たせて闘ってみる。ゴール付近まで辿り着き、周囲を見渡すと意外や意外。ライバルはわずか数名しかいなかった。このようなことは受験の世界では普通に起こります。何しろ、楽な道がどの受験生の目にも映るものですから。

## ○ 入学試験の実施方法の変更について

3年生はこれから出願する学校のHPをよく確認してください。10月23日(金)に九州工業大学の情報工学部が学校推薦型の試験(口頭試問)の実施を「来学受験」から「遠隔受験」に切り替えました。他の学校でも発表されていくはずですが。

## ○ 「プラトニー」と「スパート」について



学年の佳境を迎える秋は、「時間をかけた割に伸びない」と悩む季節。「プラトニー」(フランス語で水平)は脳内でニューロンがネットワークを構築し、外的要求への対応力が落ちます。「スパート」の準備をしているのです。焦らずに進めましょう。